

風水害について

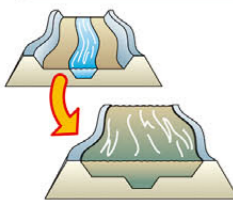
集中豪雨に要注意

比較的短時間に狭い地域に多量の雨が降る現象を「集中豪雨」といいます。「集中豪雨」は、馬の背を分けて降るといわれるように、局地的にいつどこで急に降り出すか予想が付きません。また、雷を伴うような雨は「集中豪雨」になりやすいものです。

「集中豪雨」は、中小河川の氾濫や、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな災害の発生につながる場合があります。気象情報等に十分に注意しましょう。

洪水災害とは？

河川増水



河川増水とは、雨などにより川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに中心部

しか水が流れていません。これが通常の姿です。

ところが、川幅いっぱいにお水が溢れ、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「河川増水」といいます。

氾濫

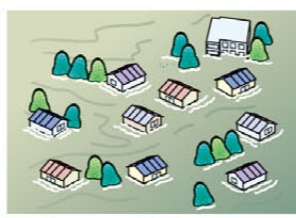


氾濫とは、雨などにより、住宅地や農地などに水があふれることをいいます。川から水があふれることを

「外水氾濫」といいます。

川から水があふれるのではなく、住宅地や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水氾濫」といいます。

水害



水害とは、水によって起こされる災害のことで、外水氾濫も内水氾濫も水害と呼ばれます。ただし、海水による水害の場合は、高潮災害、津波災害といった呼び方をされます。

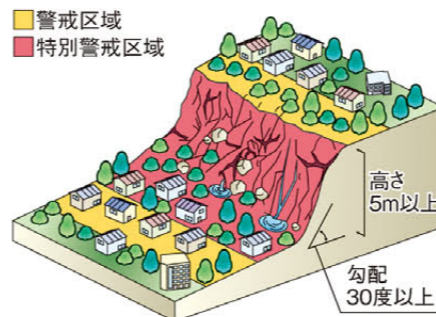
雨の強さと降り方

降っている雨を観察することで、おおよその雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を確認しておきましょう。

発表目安	記録的短時間大雨情報				
	大雨注意報		大雨警報		大雨特別警報
予報用語 1時間雨量(mm)	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴォーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘はまったく役に立たなくなる		
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

土砂災害の種類と前兆現象

急 げけ崩れ(急傾斜)

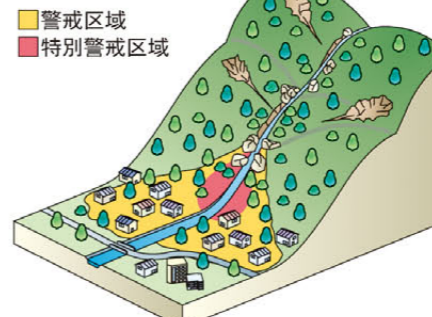


大雨や地震などの影響で、急な斜面が一気に崩れ落ちる現象です。

このような前兆現象に注意！

- 亀裂ができる。
- 小石が斜面からぱらぱらと落ち出す。
- 斜面から地鳴りが聞こえる。
- 湧き水が濁ってきたり、水の吹き出しがみられる。

土 土石流

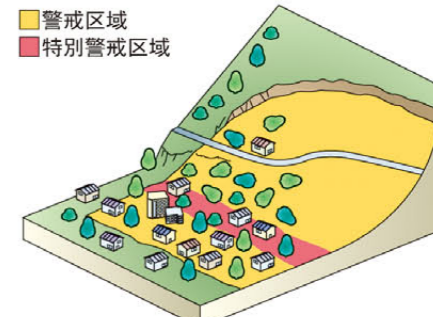


山の斜面が崩れたときに、崩れた土や石が、雨水や川の水と一緒に流れ出す現象です。

このような前兆現象に注意！

- 木の裂ける音や大きな岩の流れる音が聞こえる。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が急に下がり始める。
- 異様なにおい(土臭い、ものの焼けるにおいなど)がする。

地 地滑り



斜面の一部又は全部が、ゆっくりと下方へずれ落ちる現象です。

このような前兆現象に注意！

- 地鳴りがする。地面が震動する。
- 亀裂や段差、地表面に凹凸ができる。
- 地下水が濁る。
- 戸の締まりが悪くなる。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

警戒区域は、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

特別警戒区域は、警戒区域のうち土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

※土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)

インターネットで土砂災害警戒区域などを調べたいとき [茨城県土砂災害警戒情報](https://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/) [検索](#)

パソコン用アドレス ⇒ <https://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/>

日本語、英語、韓国語、中国語の表示が選択できます。(令和5年3月現在)

土砂災害警戒情報について

「土砂災害警戒情報」とは、大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市長が避難指示などを発令する際の判断や、住民の皆さんの自主避難の参考となるよう、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。ただし、土砂災害は地質や地下水の状況などに大きく影響を受けるため、発生の詳細な情報を特定することはできません。土砂災害警戒情報が発表された場合はもちろん、発表されていない場合でも、斜面の状況などに注意を払い、前兆現象に気がついたら、直ちに安全な場所に避難し、市役所などに連絡しましょう。

大雨注意報
大雨によって災害が起こるおそれがある状況

大雨警報
大雨によって重大な災害が起こるおそれがある状況

さらに大雨が続くと

土砂災害警戒情報
大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、県と気象庁が共同で発表

土砂災害の対処法

- ❗ 自分の住んでいるところの土砂災害警戒区域をハザードマップで確認しておきましょう。
- ❗ 雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意してください。
- ❗ 「土砂災害警戒情報」が発表されたら、早めに近くの避難所など、安全な場所に避難しましょう。
- ❗ 避難所などの安全な場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上に避難しましょう。それも難しい場合は家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。